

すざか 農業委員会だより

第50号

発行編集
須坂市農業委員会
電話(026)245-1400
内線 3772



宝物をそーっと隠すように、苗に土をかけ、やさしく、やさしく押さえている小さな手。秋には「こんなにおおきなお芋!!」「まだあるかなー」と土を掘り続ける子、芋より虫探しに熱中する子。収穫したさつまいもは焼芋大会で井上保育園児全員で食べました。

植えて、育てて収穫し、食物として口にするという、一連の初体験で、食に対する関心、食物を育む土・水・空気等、自然に感謝する気持ちと、それらを守り続ける心が育つ原点になってくれればと思ふ。園児達と交流しました。感動を全身で表現する、素直なままの子供達がまぶしかった。

太陽^{サシサン}
サーグル²
井上町
大豆グルーフ



- 農業委員定数見直し研究委員会発足
- 市長と農委活動について意見交換
- 農業委員会活動方針策定
- 井上町における鳥獣害対策
- 下限面積50aが別段面積に変更
- 食と農100人委員会
- 台風被害農家支援 桃の直売
- 生き生き農家・農家に嫁いで

農業委員会正数見直し研究委員会が発足

「かけがえのない農地と担い手を守り、力強い農業をつくるかけ橋」の組織理念のもと、農業委員の定数について研究するための研究委員会が七月の総会で決まり、十一月上旬には会長に答申できるよう発足しました。

現在の委員数は公選十九名

(定員二十名)・選任六名(農協理事一名・議会推薦五名)計二十五名で構成しておりますが、今回の農業委員会等に関する法律の一部改正に併せ、現在の耕作面積、農業人口、農家戸数等を参考にしながら見直しを研究するものです。

また、今回の法改正では議会推薦の選任委員数が五人から四人となり、土地改良区の推薦による委員が一名となっております。

一方、遊休荒廃農地は昨年の調査で一九三ヘクタールもあり、中山間地の農業や鳥獣害、認定農業者、農業後継者等の課題も

山積し、農業委員の果たす役割は一層重要性を増しております。

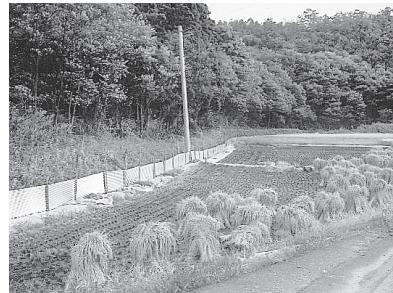
農業委員会活動について

市長と意見交換

農業委員会では、去る7月16日、三木市長・渡辺農林課長を迎えて、農業委員会の活動状況等について意見交換し、併せて農業委員会の必置規制の堅持と交付金の維持・確保に関する要請を行いました。

要請内容は、農業委員会は、食料・農業・農村基本計画に基づき「農地の確保・有効利用」、「担い手の確保・育成」という重要な使命を担っています。

昭和四十五年と平成十二年を比較すると耕地面積三十九・六ペーセント、農業人口三十九・六ペーセント、農家戸数二千二・四ペーセントの減少となり、委員数の適正化が求められるものです。



井上町における鳥獣害対策の取り組みについて

農 林 課



平成15年度の鳥獣害による被害状況は深刻で、特にイノシシによる被害が急増し、収穫前の水田被害から、りんごの木の倒伏、実ったぶどうの食害にまで及び、市内全域でイノシシによる被害額は261万6千円でした。そこで、昨年から井上地区において集落をあげて対策に取り組んでいた

被害状況は深刻で、特にイノシシによる被害が急増し、収穫前の水田被害から、りんごの木の倒伏、実ったぶどうの食害にまで及び、市内全域でイノシシによる被害額は261万6千円でした。そこで、昨年から井上地区において集落をあげて対策に取り組んでいた

今後は、地元の皆さんと、行政と協同で対策を進めていくことが大切ではないでしょうか。

るが、国の方針推進会議では、地方公共団体の行財政改革推進等行政体制の整備についての意見の中でも「農業委員会の必置規制の廃止もしくは一層の緩和・交付金の一般財源化等について検討すべき」と指摘しているため、この必置規制の堅持について三木市長に要請しました。

取得しようとする土地の所在と別段面積		
地区名	変更前 (下限面積)	変更後 (別段面積)
須坂	50a	40a
井上	50a	40a
豊洲	50a	50a
日野	50a	40a
高甫	50a	50a
仁礼	50a	30a
豊丘	50a	30a

農地法3条の権利移動 下限面積50アールが別段面積に変更される

農地法第3条の許可を受け農地及び採草放牧地の所有権等の権利を取得しようとすると、場合、取得後において最低限五十アールの耕作面積(下限面積)を必要とします。

この下限面積について、一定の条件を満たす一部区域において、県では下限面積とは別に独自の耕作面積(別段面積)を定めていますが、このほど見直しが行われ、4月から左表の別段面積により審査を行うこととなりました。

農地法3条申請の際、ご留意いただくようお願いします。

荒廃していく農地にも、被害がなくなると耕作できるようになるとの地元農業委員さんの農地を守ろうとする考えに立っての取り組みに感謝しています。

被害状況は深刻で、特にイノシシによる被害が急増し、収穫前の水田被害から、りんごの木の倒伏、実ったぶどうの食害にまで及び、市内全域でイノシシによる被害額は261万6千円でした。そこで、昨年から井上地区において集落をあげて対策に取り組んでいた

だきました。

当初は対策範囲が広すぎるとの懸念や、集落内での話し合いのなかで実施できるかどうか悩んだことも事実です。

何度も会議を重ね、県の指導チームによる現場指導や、鳥獣の生態、正しい防除方法を学ぶ講習会への参加など、地元の皆さんにはブドウ栽培の忙しい合間をご苦労いただきました。さらに被害にあっている山際では、朝早くから、山と畑の境をはっきりさせるため、住民の手により、雑草地の環境整備を行いさらに電気柵の設置やトタン柵の設置をしました。

どうしても、防護柵などを設置できない箇所については、捕獲柵を設置し、現在までに、6頭のイノシシが捕獲されました。また、井上地区で8月の電気柵、防護柵の設置により、今までにイノシシの被害をうけた箇所はないと言っています。

荒廃していく農地にも、被害がなくなると耕作できるようになるとの地元農業委員さんの農地を守ろうとする考え方立てる取り組みに感謝しています。

(3) 平成16年11月10日

すざか農業委員会だより

手作り加工所視察と松本農村女性協議会との意見交換会に参加して

丸山 洋子

去る八月二十五日100人委員会郷土食、ブランド作り部会の呼びかけにより、女性農業委員、JA女性部、そな三十数名で研修を行ってきました。

喬木村にある小池手

作り農産加工所は山の中でそんなに大規模ではありませんでしたが、さすが女性起業家の女性社長という感じで二〇年の実績に裏打ちされ



た自信に満ちた話し方と太っ腹には説得力がありました。

ハネ出し物を加工して独自の商品で売り出す方式は、忙しくて自分で出来ない部分は委託も取り入れて利用する価値がありそうです。

次に松本農村女性協議会の主な活動計画は、①委員研修の実施②関係機関等との連携強化③広報・相談活動の強化④主要な取り組みとして、

○優良農地の確保及び遊休・未利用農地の利用調整○農用地の利用集積○農地等の利用関係や紛争の相談○関係機関に対する建議等の推進により、農業の体质強化、認定農業者や中核的担い手農家の育成等、農政の基本的課題である農業構造政策を推進し、農業者の自主性を生かした活力ある地域農業の確立に努めています。

須坂市食と農100人委員会

「須坂竜うまいもん祭り」

きろく 内容
とと内 参加料
問合せ

11月21日(日)午前10時から
豊丘活性化施設(豊丘上町)
郷土食展示・試食ほか
大人200円、子ども100円
そば打ち体験300円
農林課 TEL 248-9004

農業委員会では、優良農地の確保とその有効活用、担い手の確保・育成に向けた取り組みを一層強化し、農業委員会等に関する法律に定められた農地行政の厳正な実施はもとより、農業委員会活動の重視化を図るため、「須坂市農業委員会活動方針」をこのほど策定し、行動する農業委員会の実現に向けた農業委員と農業者、農業者と地域住民、生産者と消費者、農村と都市の「かけ橋」としての取り組みを強化しました。



議会の方ですが、さすが組織がしっかりと一本化されていて十四の地区役員とマイスターの会を中心に市の農政課、男女共生課、普及センターが加わり、しっかりサポートして協議会が運営され、農村女性プランが五カ年毎に策定され、そのプラン達成に向けて活発に活動されていて羨ましい限りでした。

台風18号 被害農家支援 モモの直売行

農業委員会活動記録 (16年4月～10月)

4月6～8日	農業委員会研修視察（熊本県大水町ほか）
4月定例総会	砂利採取法等に係る研修会（農地部会）
5月13日	農業者年金協議会総会
28日	5月定例総会
5月1日	須高地区農業委員会協議会総会
17日	女性農業委員の会総会 (松本市)
24日	農業振興対策部会
28日	農業後継者対策部会
6月1日	農業振興対策部会
17日	農地紛争和解の仲介
24日	市長との意見交換会
28日	農地対策部会
11日	農業委員定数見直し研究委員会①
14日	農業委員定数見直し研究委員会②
18日	農業委員定数見直し研究委員会③
21日	農業振興対策部会
24日	農業委員定数見直し研究委員会④
28日	農業委員定数見直し研究委員会⑤
7月8日	農業委員定数見直し研究委員会⑥
14日	農業振興対策部会
17日	農業委員定数見直し研究委員会⑦
22日	農業振興対策部会
27日	農業振興対策部会
29日	農業委員定数見直し研究委員会⑧
10月1日	農業委員定数見直し研究委員会⑨
17日	農業委員定数見直し研究委員会⑩
24日	農業委員定数見直し研究委員会⑪
29日	農業委員定数見直し研究委員会⑫
10月定例総会	農業後継者対策部会
三浦市へ農産物直売と交流（農地対策部会）	紫雲寺町へ農産物直売と交流（農地対策部会）



●生き生き農家・ 須坂はワインの銘醸地?

農家に嫁いで 楽しみながら農作業を

小島町 山 岸 みよし



日本で葡萄作りから本物のワイン作りを、との思いが高じて2001年に会社を辞め、オーストラリアのワイン産業の中心であるアデレード大学で醸造学と葡萄栽培学を学び、今年から郷里須坂で就農し葡萄作りを始めました。

現在、巨峰3反歩にワイン葡萄を6反歩ほど栽培しています。これから徐々に畑を増やすとともにワイナリーも設立して消費者に喜ばれる本物のワインを作りたいと思っています。初めから須坂で葡萄作りをする

つもりでしたが、日本では一体どこで葡萄を作るのがいいのだろうかと考え日本各地の気象データを調べてみました。比較のために使ったのが、アメリカやオーストラリアでワイン用葡萄栽培の最適地を見つけるのに使

いましたところ、何と須坂の過去10年間のデータに基づく数字がフランスワイン銘醸地の数字に近い所はほかに見当たりません。生育期間中の日照時間がやや少なく降雨量は多めですが、日本では他所より優位です。これならと意を強くして須坂で始めたところ、嬉しいことに日滝原産原料葡萄酒を使つたワインが去年今年と2年連続して日本産ワインコンクールで日本一となりました（小布施ワイナリーのシャルドネとメルシャンの北信シャルドネ）。須坂市一帯は最優

秀なワイン用原料葡萄を生み出す土地で、須坂は日本のワインの銘醸地になり得るのであります。私は農業を始めたばかりで、まだ失敗も多く、葡萄づくりの諸先輩から叱咤激励を受けた悪戦苦闘している毎日ですが、いつか世界に誇れるワインを作るべく頑張つて行く決意でいます。良いワインは良い原料からの信念のもと、今年は贈答用にも使つた巨峰からワインを仕込んでいます。

500本程度ですが委託醸造の中で、来年リリースします。ところで全てが一人で出来るのは考えておりません。葡萄栽培やワイン作りと一緒にやろうと思う方はいらっしゃいませんか？

農業委員会の仕事で何度も中山間地域と呼ばれる所へ行きました。車を降りて荒廃農地や陸砂利採取の現場・砂利採取後の農地を観察した。特に田の畔には大小さまざまの玉石が幾重にも整然と積み上げられ、見事なものだ。機械のない時代に人力で築いたのだろう。

経済のグローバル化が進み、自分や家族の生活を守るために、祖伝來の荒れる土地を見て、その苦労がしのばれる。

経済のグローバル化が進み、自分や家族の生活を守るために、祖伝來の荒れる土地を見て、何とかならないものか複雑な気持ちになりました。

以前より大きな桃が作れるようになります。まだ勉強不足ですが、有機栽培にして良かったと思います。

有機肥料に変えて糖度も増し以前より大きな桃が作れるようになります。まだ勉強不足ですが、有機栽培にして良かったと思います。

数年前から菊作りの仲間に入り、農作業も趣味も心に余裕と希望を持ち、楽しみながら出来ればとがんばっています。

会社勤めの夫に嫁ぎ、夫の手を借り、二人三脚で農作業を行う兼業農家です。作物は天気の良い日は澄み切った青空の下で気持ちよく剪定作業も進みます。

春には桃の花が一面に咲き、摘蓄の頃には、櫻と桃の花がピンク一色になり、わざわざ花見に行かなくとも畠でも綺

寒い冬の剪定作業は体も冷え切つてしまい大変ですが、天気の良い日は澄み切った青空の下で気持ちよく剪定作業も進みます。

桃の種類は「たまき」と「ワッサークイーン」です。「たまき」は巨峰の摘粒作業と重なり出荷の時は目が回る忙しさです。出荷は「アグリス」の生産者コナーにも並べており、結構評判が良いんですよ。

ワッサークイーンは自宅販売もやっていて、丁度お中元の時期やお盆と続き朝から大忙しです。年々常連客も増え遠くからも買い求めて来ます。箱詰め作業は暑さとの戦いで

麗に見ることが出来ます。この時期が気分も晴れ晴れ一番好きな季節ですね。

桃の種類は「たまき」と「ワッサークイーン」です。「たまき」は巨峰の摘粒作業と重なり出荷の時は目が回る忙しさです。出荷は「アグリス」の生産者コナーにも並べており、結構評判が良いんですよ。

ワッサークイーンは自宅販売もやっていて、丁度お中元の時期やお盆と続き朝から大忙しです。年々常連客も増え遠くからも買い求めて来ます。箱詰め作業は暑さとの戦いで

情報委員会（編集委員）

委員長	佐藤 行勇
副委員長	西澤えみ子
委員	小縣 健
委員	牧 厚子
委員	山岸 和美
委員	武田 博司
委員	中村 明伯

活かそう大切な農地 進めよう農地流動化

農地の流動化とは、認定農業者など手により農地を貸したり売ったりして、効率的かつ安定的に農業経営を確立することです。